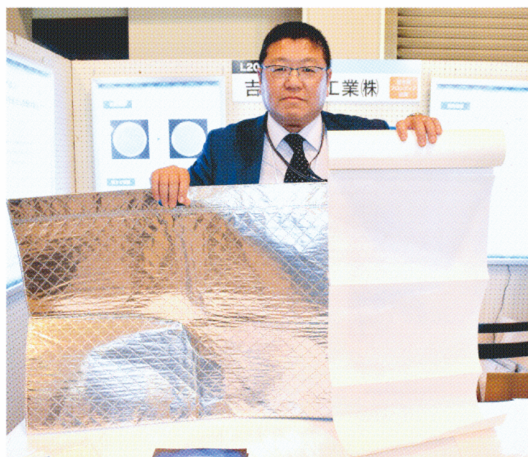


天然鉱物の粉末開発

佐野の吉沢石灰工業



「わいぶりっど」を塗工した製品

抗菌、抗かび、脱臭に効果

石灰製品製造の吉沢石灰工業（佐野市宮下町、松原維一郎社長）は、一つの製品で抗菌、抗かび、脱臭の機能を持つ「わいぶりっど」を開発し、商品化した。抗菌、抗かび、脱臭の製品は化学メーカーなどから数多く出ているが、機能が個別に分かれた製品がほと

んどで、「三つの機能を兼ね備えたものは初めて。しかも天然鉱物なので環境に優しい」と、内山直行開発営業部長は説明する。

同社によると、各機能はたばこの臭いなど全てに対応するわけではないが、シヤールの培養液で見た場合、大腸菌なら24時間抗菌するほか、黒かびも5日間繁殖を抑える。脱臭作用は、アンモニアなら1時間後に60%取り除き、酢酸ガスなら1時間後に、硫化水素なら2時間後に100%除去できるという。

わいぶりっどは、石灰・ドロマイト製品に天然無機材料を配合した粉状製品。

水酸化カルシウム、アルミニウムケイ酸塩、含水ケイ酸アルミニウムを主成分にする。

商品ラインアップは、引き出しなどに入れる不織布袋に充填した小袋タイプ

のほか、包んだり、敷いたりする不織布に内面塗工したロール（幅40センチ、長さ14・4メートル）、臭いを密閉するチャック付きバッグをそろえる。

製品用途は業務向けを想定する。内山部長は「例えば、ロールなら葬儀業者向けに夏場、ご遺体を入れるひつぎ内に敷いて脱臭することなどを提案している」と話している。

（伊藤一之）

下野新聞12月12日付より